

第3回 旅行や観光に対する意識調査

2021年5月31日

津山市・（公社）津山市観光協会（津山版DMO候補法人）

調査の概要

調査の背景及び目的

世界中で猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症の影響が広がり、本市の観光業を始めとした経済が大きな打撃を被っている中、3月21日には2回目の緊急事態宣言が解除されました。未だ感染症が収束したとは言えない状況ではありますが、ワクチン接種が始まり、マイクロツーリズムやオンラインツアーなど、コロナ禍における新しい旅行のスタイルも人気を集めています。こういった需要に対応し、市内観光事業者が対策を考え再興・実行していくための判断材料とするために実施したものです。

調査期間

2021年3月10日(水)～3月21日(日)

調査方法

無記名でのWebアンケート方式

調査対象

津山市及び津山市外の市民、津山市職員

→津山市公式LINE及びフェイスブックでの発信、津山珈琲倶楽部会員等、各種メール登録者へのダイレクトメールにて周知。また、津山市職員向け掲示板でも同様の調査を行いました。

調査実施主体

津山市、(公社)津山市観光協会

回答数

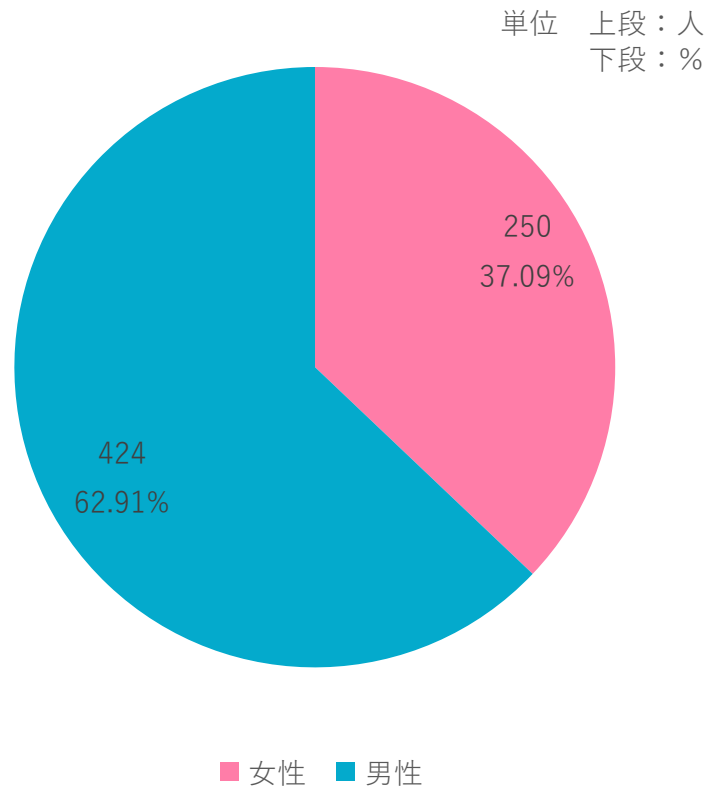
674名

備考

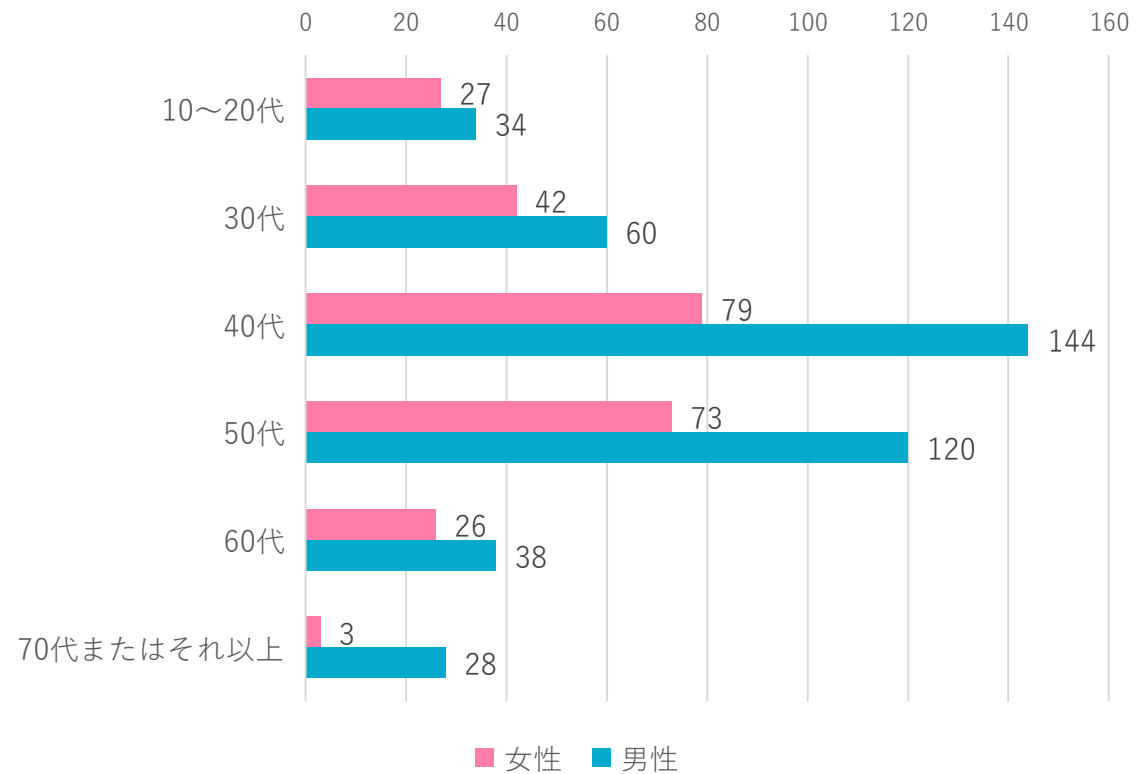
本調査は、あくまで2021年3月10日～3月21日時点での消費者の状況・心情を踏まえた回答結果となります。

回答者属性

性別 (N=674)



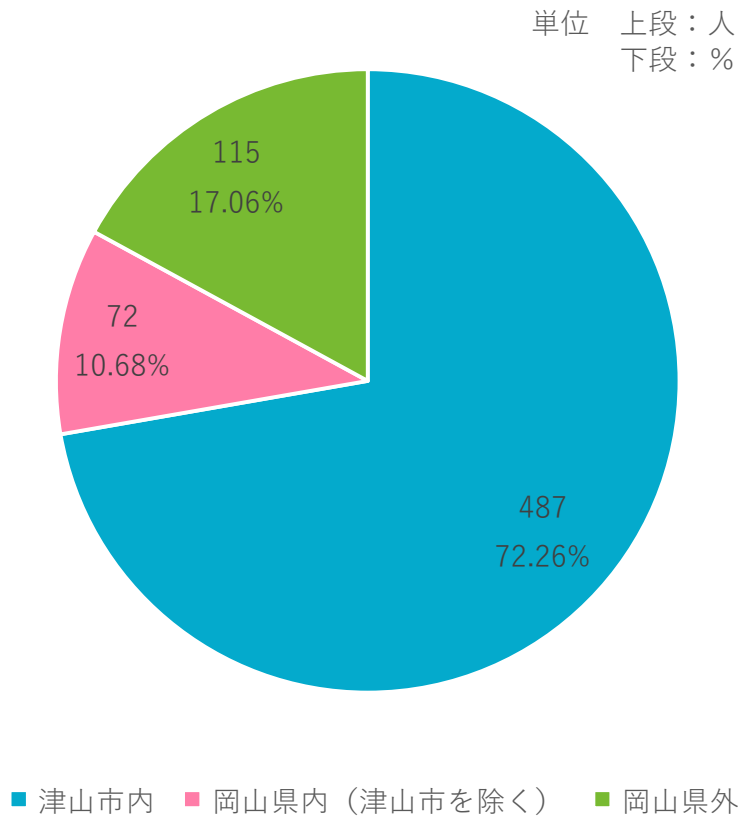
年齢 (N=674)



回答者の男女比率はおおよそ6：4となっています。また、年齢ごとの分布については、男女で回答者数の差はありますが、40、50代の方に多く回答をいただいています。

回答者属性

居住地 (N=674)



岡山県外 内訳 (単位：人)

東京都	15
大阪府	14
愛知県	13
兵庫県	12
神奈川県	8
京都府	6
埼玉県	5
広島県	4
山口県	4
千葉県	3
新潟県	3
鳥取県	3
長野県	2
奈良県	2
島根県	2
熊本県	2
鹿児島県	2
岩手県、秋田県、山形県、茨城県、栃木県、福井県、山梨県、静岡県、香川県、高知県、長崎県、中国	各1
合計	112

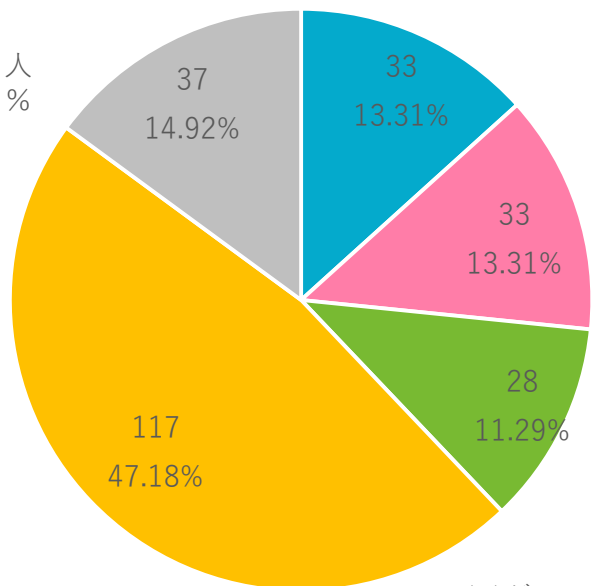
※都道府県名未回答分があるため、合計数は左図と異なります。

過去2回の調査と同じく、津山市内在住者からの回答が最も多く、岡山県外からの回答者では、東京都、大阪府、兵庫県など「津山珈琲倶楽部」の会員の多い都府県からの回答が多くなっています。

どうやってアンケートを知ったか

全体の比率 (N=248)

単位 上段：人
下段：%



※グラフの数値は職員向け掲示板の数を除いたもの

■ 津山市公式LINE

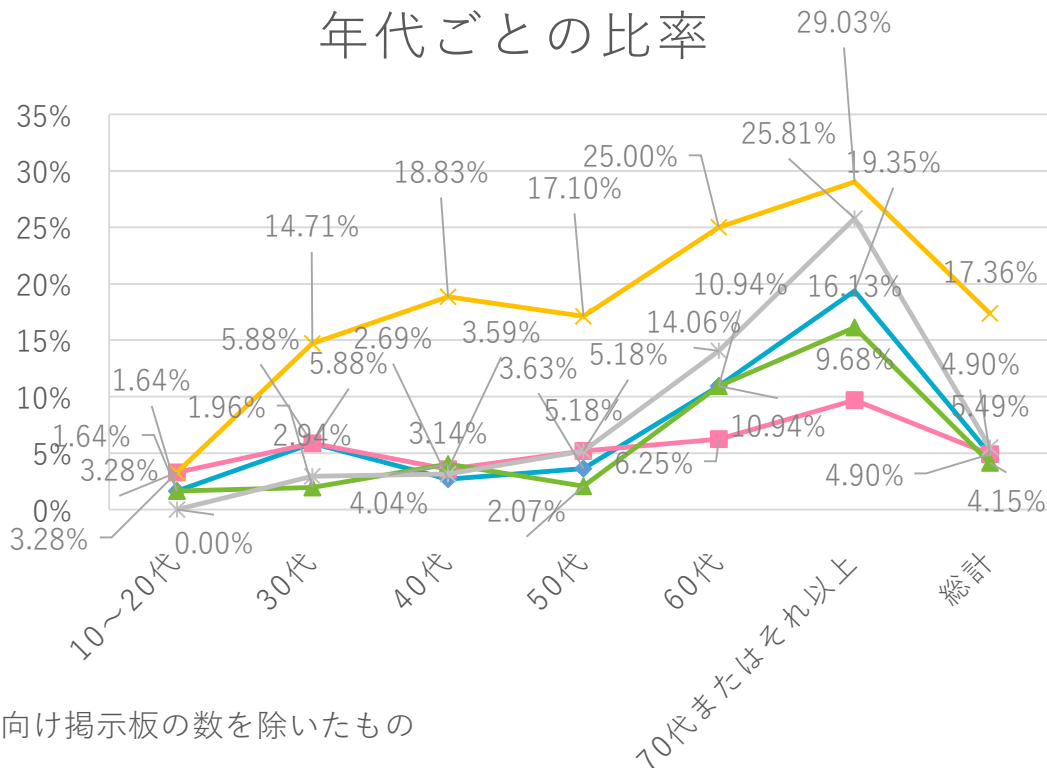
■ 津山市広報フェイスブック

■ 津山市ホームページ

■ ダイレクトメール

■ その他

年代ごとの比率



◆ 津山市公式LINE

■ 津山市広報フェイスブック

▲ 津山市ホームページ

◆ ダイレクトメール

✱ その他

ダイレクトメールでアンケートを知った人が最も多く、自分のスマートフォンなどに直接通知が来る方法での周知が効果的であるという点は、過去2回のアンケート調査結果と変わっていません。

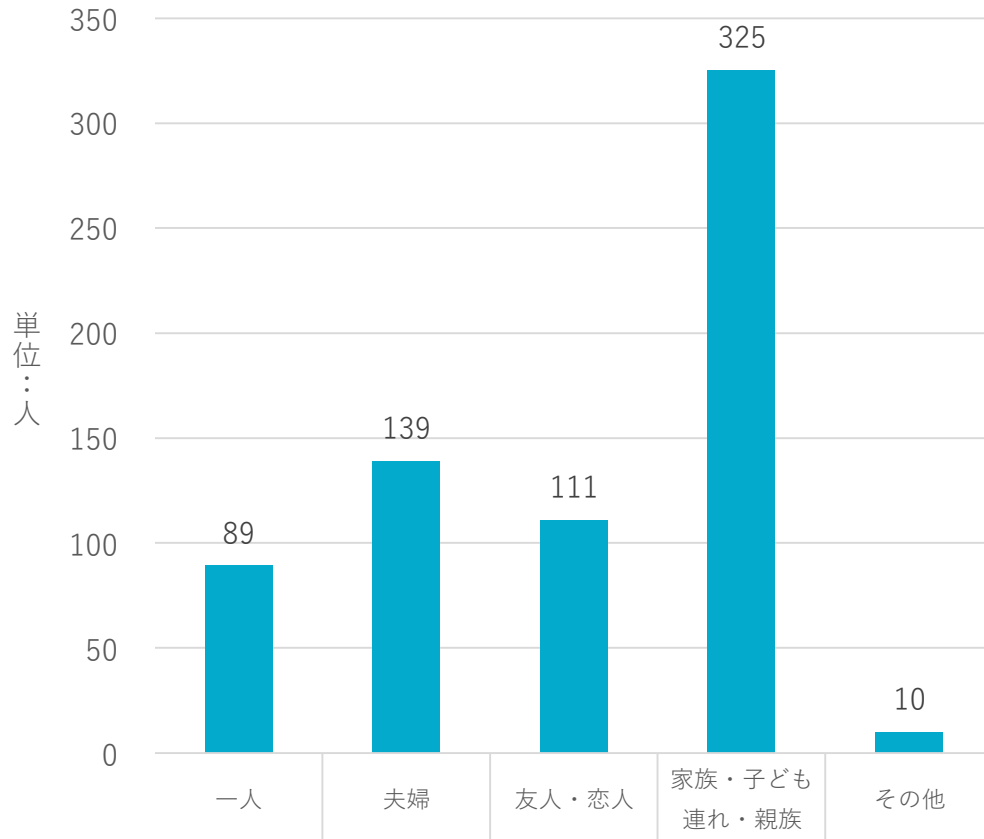
※今回のアンケートでは、LINEでのプッシュ通知は行っていません。

1.旅行や観光についての考え方

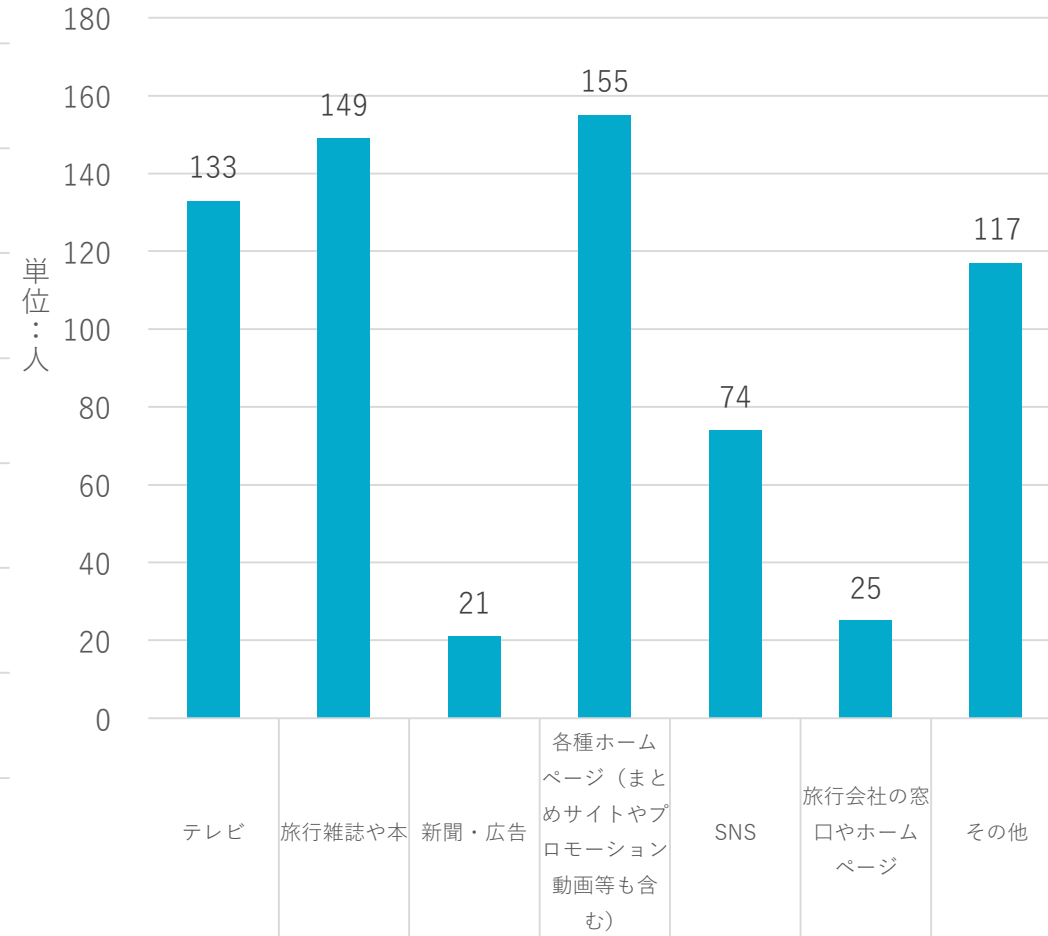
旅行や観光をする側として
現時点でどう思っているか

旅行の形態について

誰と旅行に行くことが多いか



旅行の行き先を決めるきっかけ

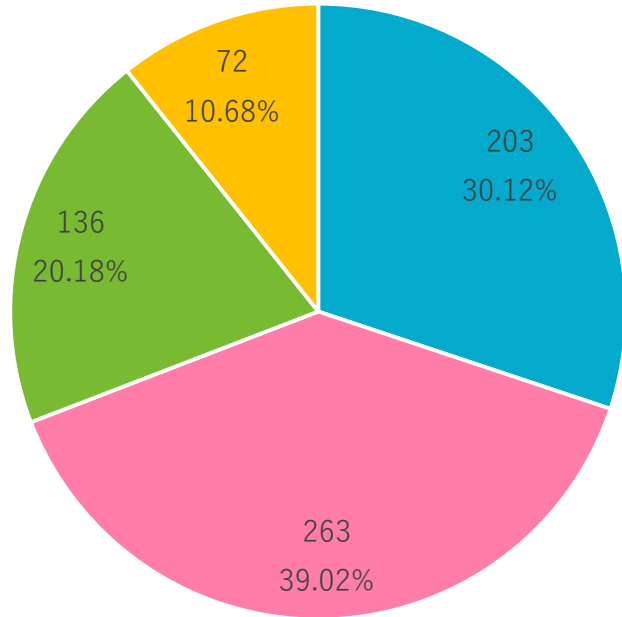


家族連れで旅行をすると答えた人が最も多く、過去のアンケート結果と同様の結果となりました。

旅行の行き先を決めるきっかけとなる媒体は、各種ホームページ、旅行雑誌や本、テレビが多数を占めています。

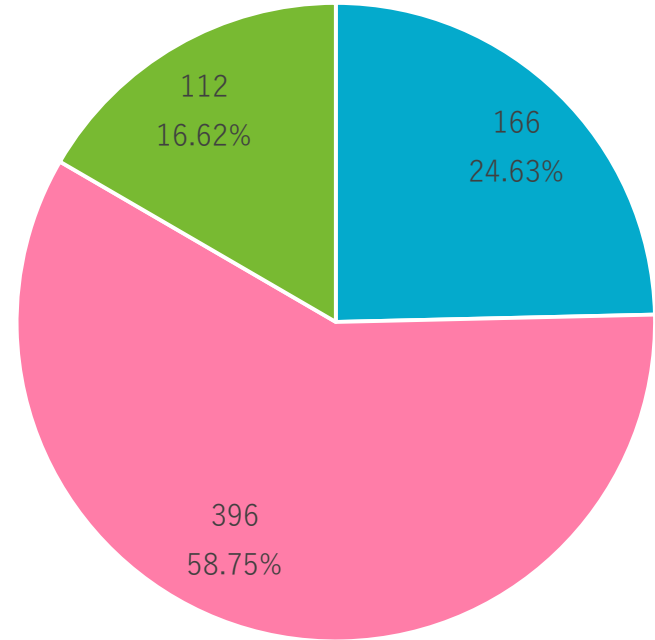
旅行の実施について

現時点での旅行意欲の有無



- 早く旅行に行きたい
- 旅行に行きたいと思う
- 旅行に行く気にはならない
- 今はわからない

2020年の1年間に 観光目的の旅行をしたか



- 旅行した
- 旅行していない
- 旅行の計画は立てていたが取りやめた

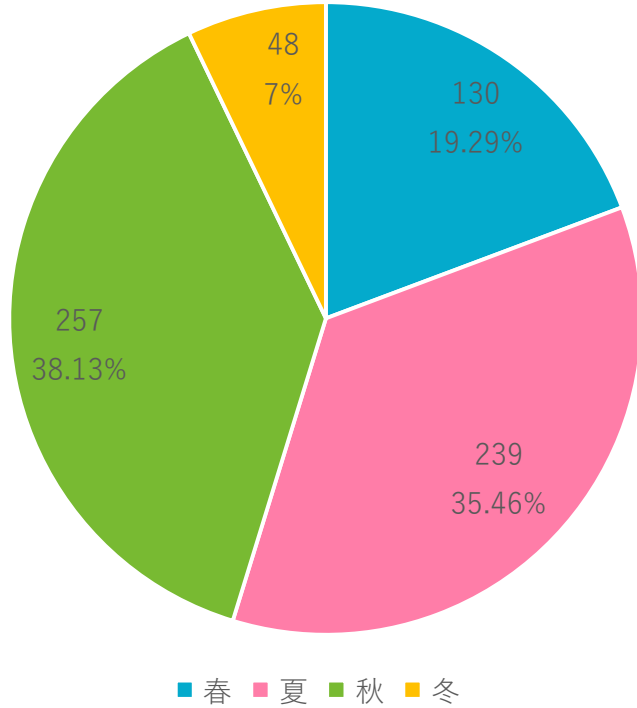
単位 上段：人
下段：%

「旅行に行く気にはならない」と答えたのは全体の20%です。回答者の69%は旅行への意欲がある（「早く旅行に行きたい」「旅行に行きたいと思う」の合計）と回答していますが、2020年の1年間に実際に旅行したのは回答者全体の25%弱にとどまっています。

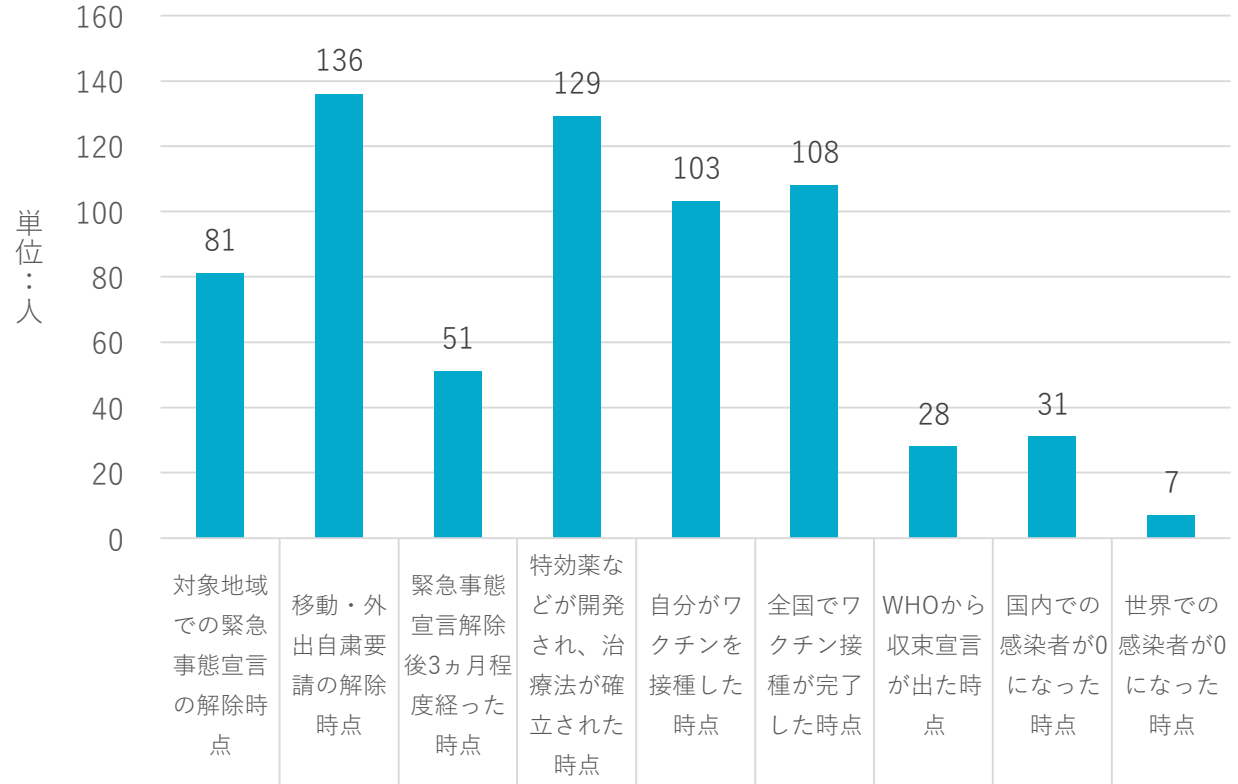
旅行の実施について

どの季節に旅行することが
多いか

単位 上段：人
下段：%



旅行（国内）をしてもいいという
判断の基準となる時点



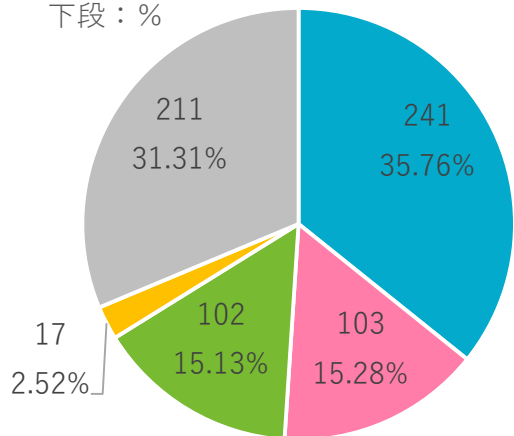
今回のアンケート調査では、旅行する季節として夏及び秋がほぼ同率となっています。夏休みシーズンや、季候の良いシーズンが選ばれているのだと考えられます。

国内旅行をする判断基準としては、「移動・外出自粛要請の解除時点」が最も多いですが、5月31日現在、岡山県に緊急事態宣言が発出されていることもあり、アンケート実施時とは状況が変化していると思われます。

いつごろからであれば旅行してもいいと思うか

県内など近隣エリア

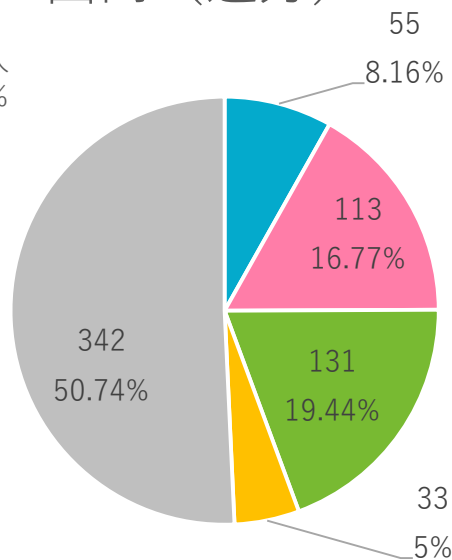
単位 上段：人
下段：%



- 3月～5月 (春・ゴールデンウィーク)
- 6月～8月 (オリンピック・夏休み)
- 9月～11月 (秋の行楽シーズン)
- 12月以降 (冬～)
- 当面は控える

国内 (遠方)

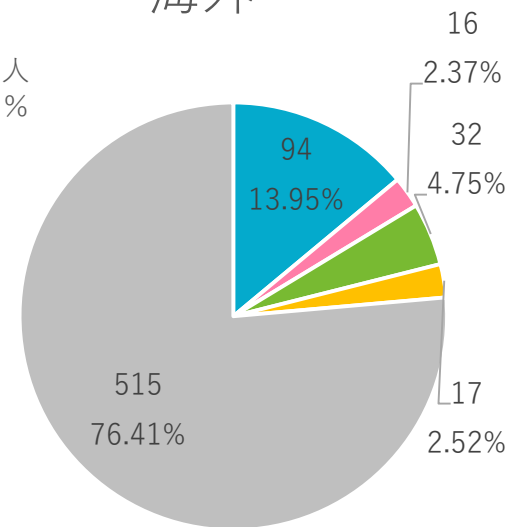
単位 上段：人
下段：%



- 3月～5月 (春・ゴールデンウィーク)
- 6月～8月 (オリンピック・夏休み)
- 9月～11月 (秋の行楽シーズン)
- 12月以降 (冬～)
- 当面は控える

海外

単位 上段：人
下段：%



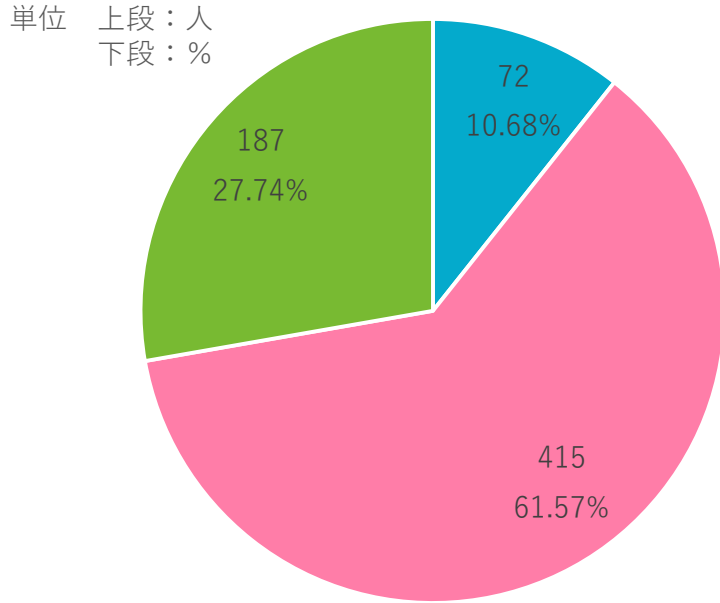
- 3月～5月 (春・ゴールデンウィーク)
- 6月～8月 (オリンピック・夏休み)
- 9月～11月 (秋の行楽シーズン)
- 12月以降 (冬～)
- 当面は控える

居住地からの距離が遠くなるほど、旅行してもいいと思う時期も遅くなっています。この傾向は過去2回のアンケートと変わっていません。

現在、大都市圏以外においても新型コロナウイルス感染が拡大しており、その影響で旅行に対する考え方も変わっていると思われます。

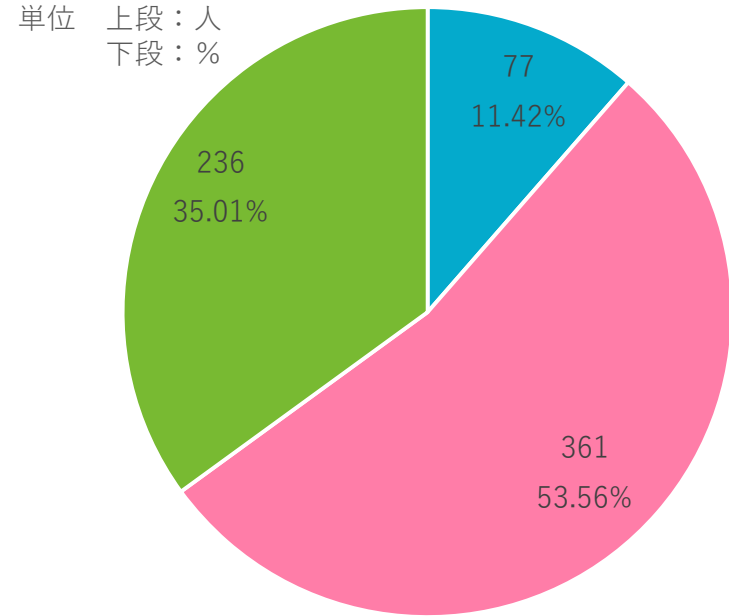
緊急事態宣言解除後の旅行について

県内など近隣エリアへ旅行する
予定があるか



- 旅行の予定や計画がある
- 旅行の予定や計画はないが、旅行したいと思っている
- 旅行の予定や計画はないし、旅行したいとも思わない

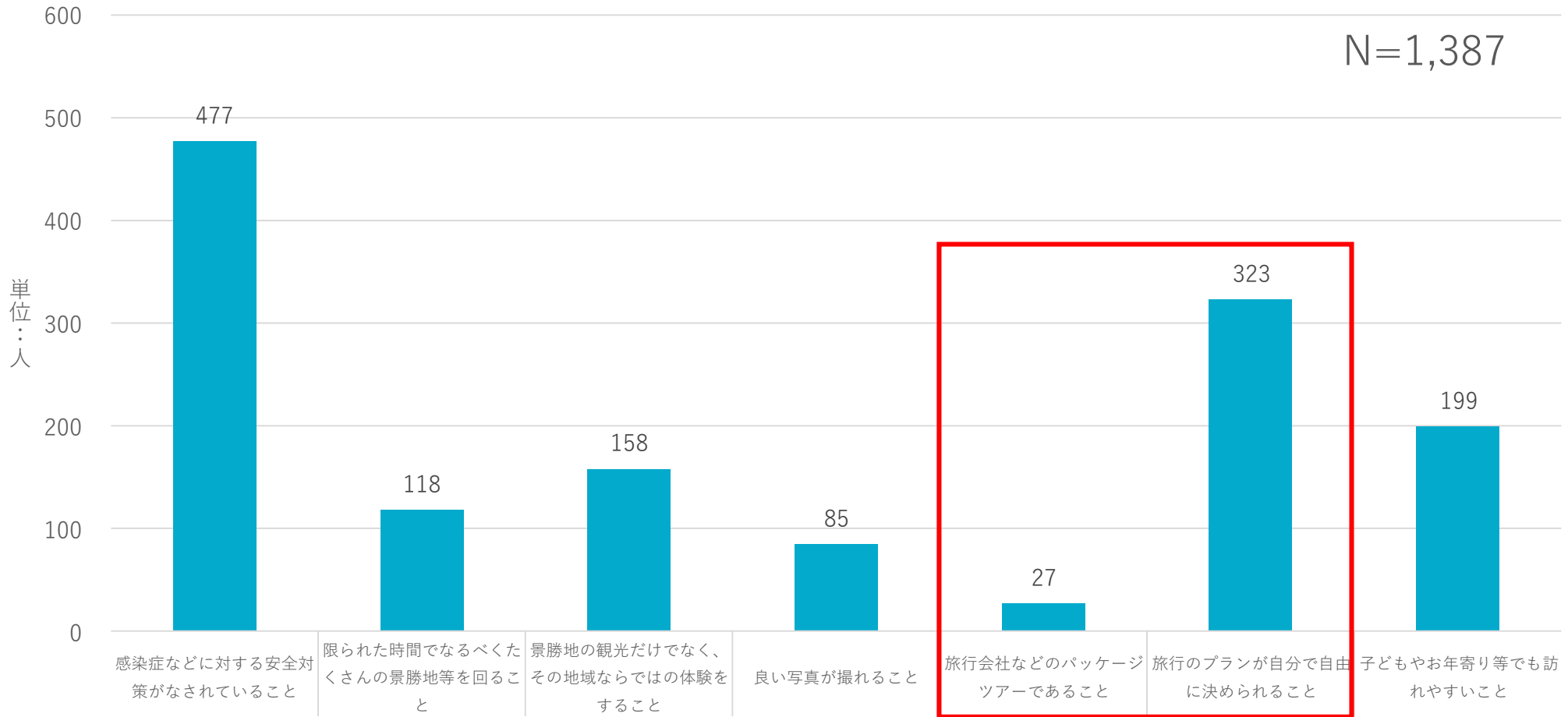
県外など遠方へ旅行する
予定があるか



- 旅行の予定や計画がある
- 旅行の予定や計画はないが、旅行したいと思っている
- 旅行の予定や計画はないし、旅行したいとも思わない

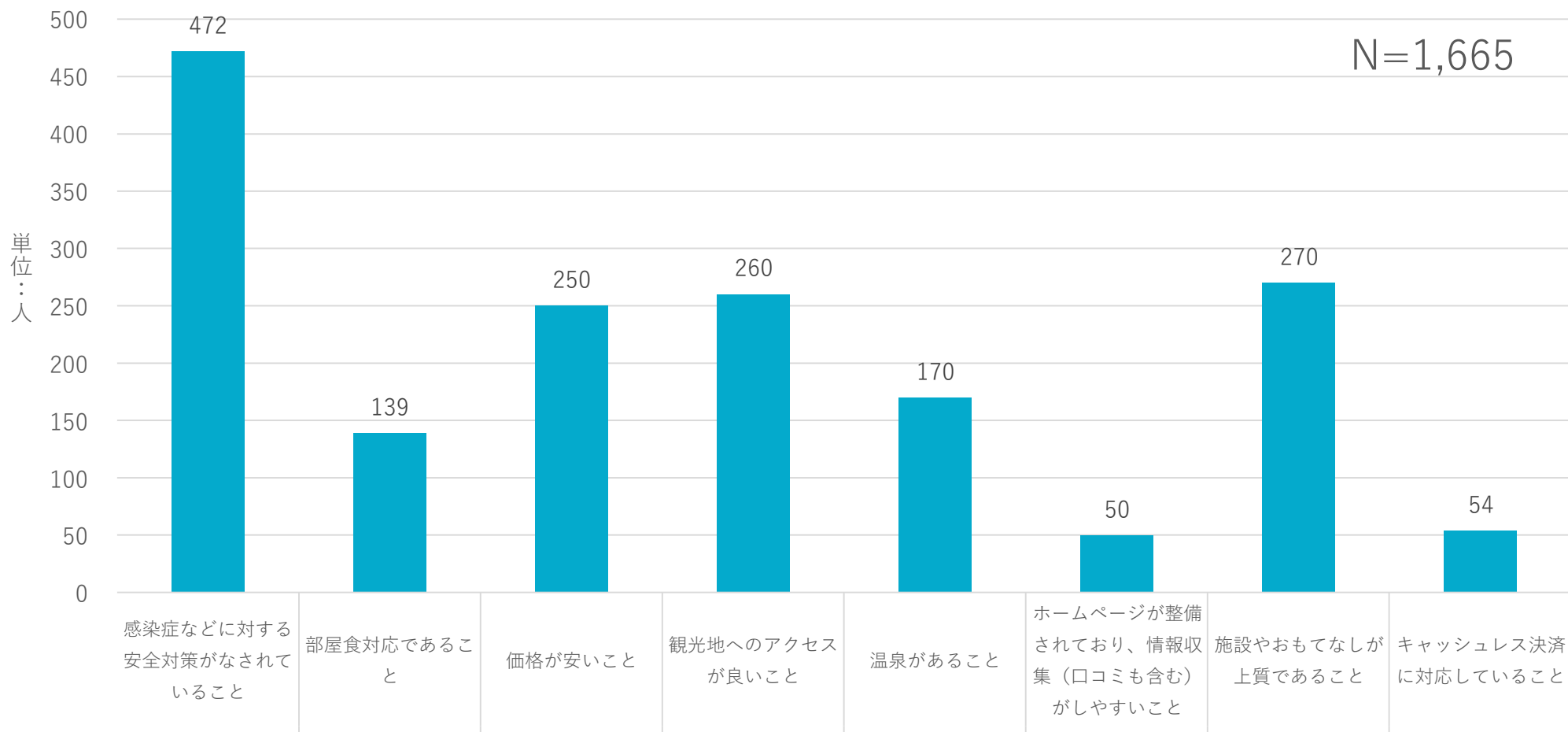
緊急事態宣言解除後（3月21日以降）の旅行について、県内・県外を問わず、「旅行の計画はない」という回答が約90%を占めています。旅行意欲のある人は多いですが、実際の旅行に結びついておらず、また旅行ができる情勢になっていないことがわかります。

今後の旅行で重視するのはどんなことか（3つまで選択）



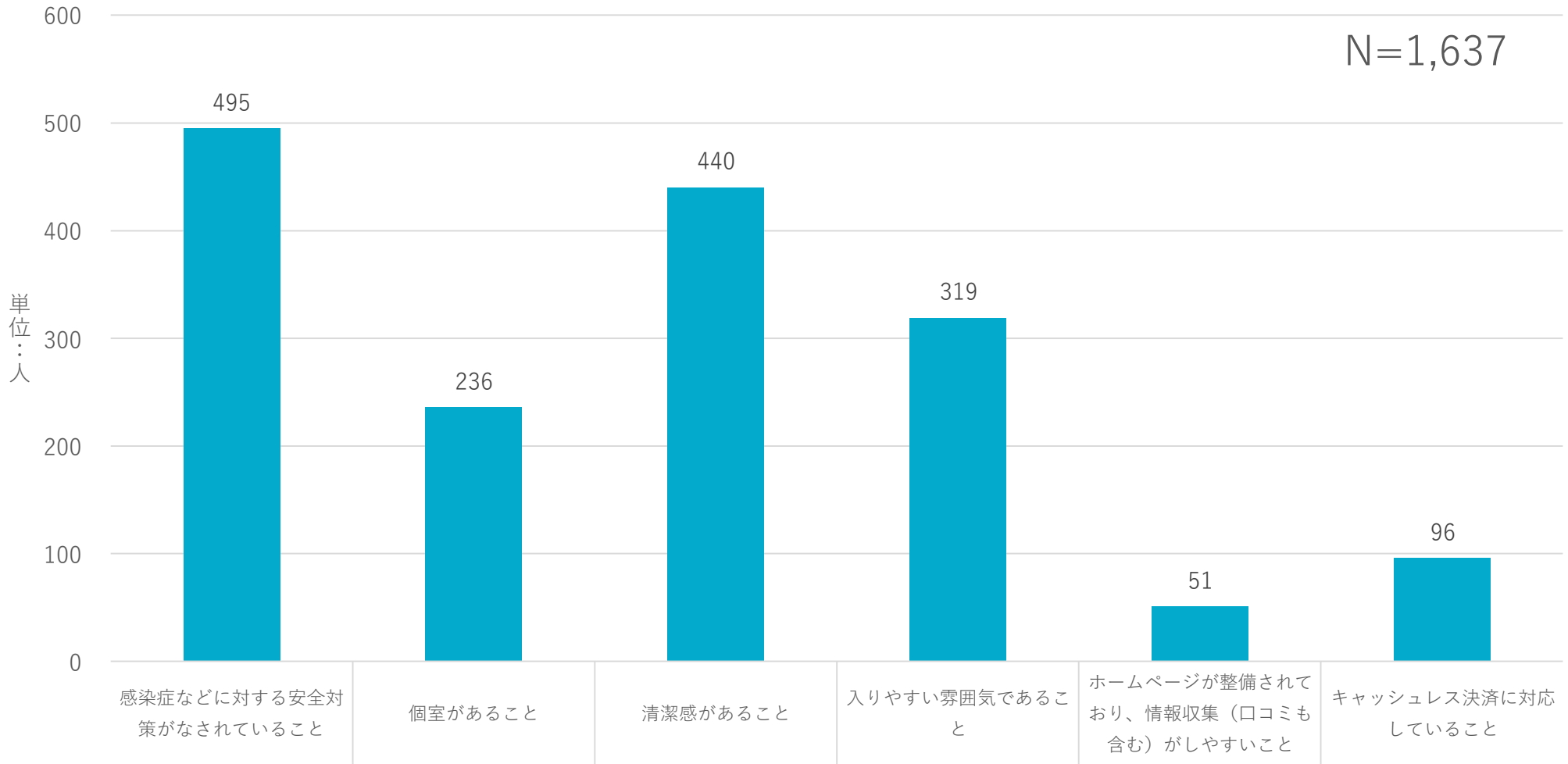
現状において「感染症などに対する安全対策がなされていること」が旅行において重視する点として多くの方に選択されているのは当然とも言えますが、2番目に多いのは「旅行のプランが自分で自由に決められること」となっています。反面、「旅行会社などのパッケージツアーであること」を選択した人は最も少なく、従来の旅行形態からの変化が現れた結果と言えます。

今後の旅行において、宿泊施設に求めるものはどんなことか（3つまで選択）



ここでも、「感染症などに対する安全対策がなされていること」がもっとも選ばれています。「施設やおもてなしが上質であること」「観光地へのアクセスが良いこと」「価格が安いこと」がほぼ同数で並んでいますが、旅行形態や年代によって傾向が変わってくると思われます。

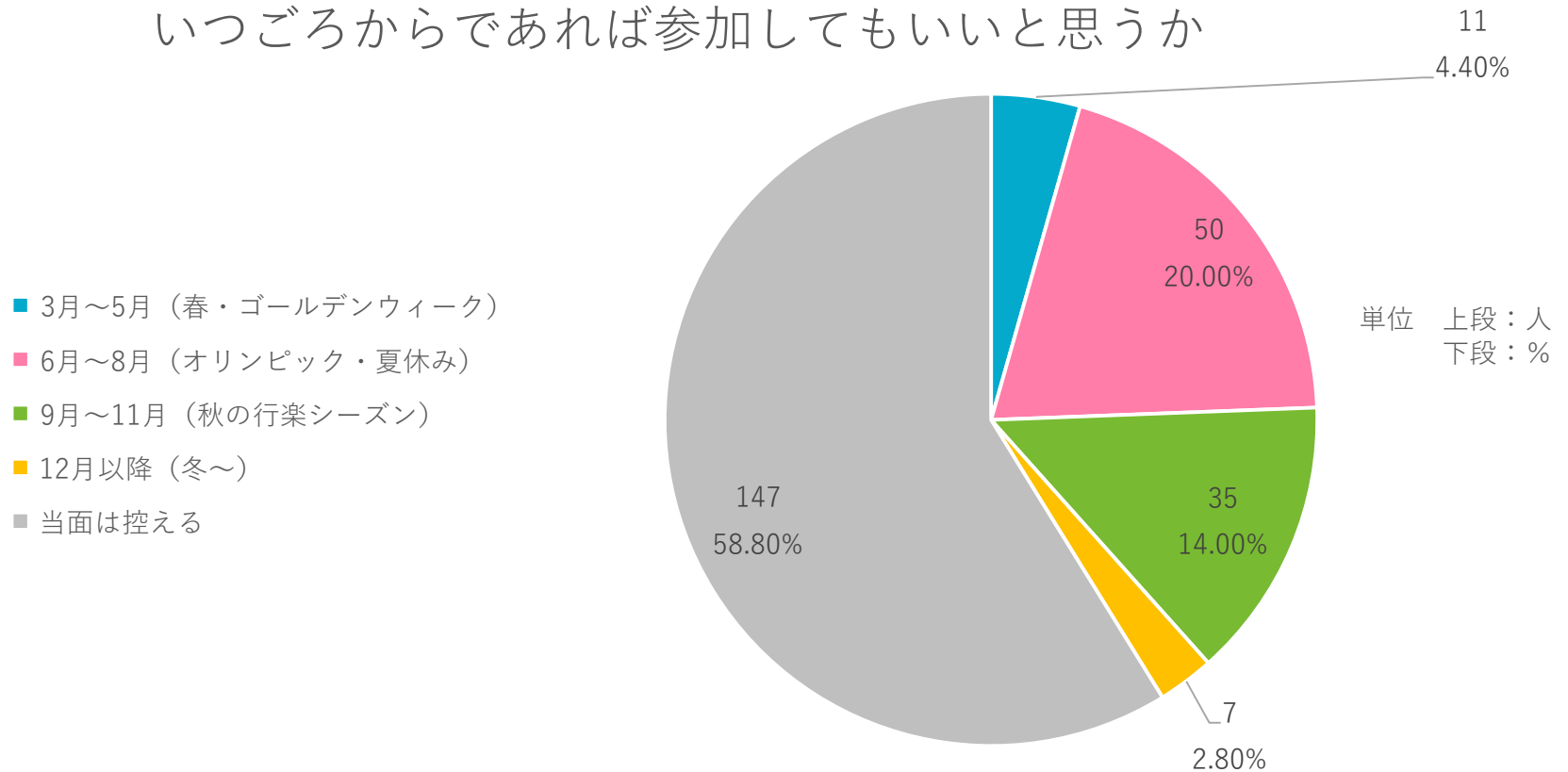
今後の旅行において、飲食店に求めるものはどんなことか（3つまで選択）



「感染症などに対する安全対策がなされていること」が上位となっているのは前項までと同じですが、観光での立ち寄りとして考えた際、飲食店については「清潔感があること」「入りやすい雰囲気であること」も重要視されています。

大勢が集まるイベントについて

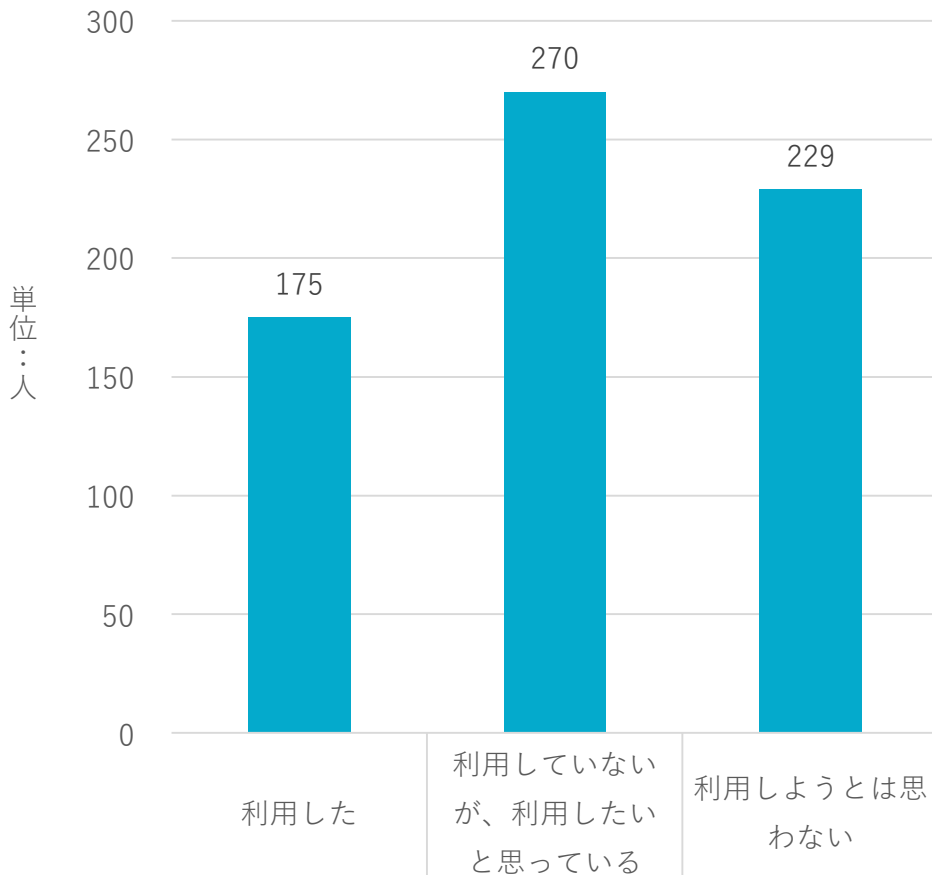
現時点で、花火大会やライブなど大勢が集まるイベントについて
いつごろからであれば参加してもいいと思うか



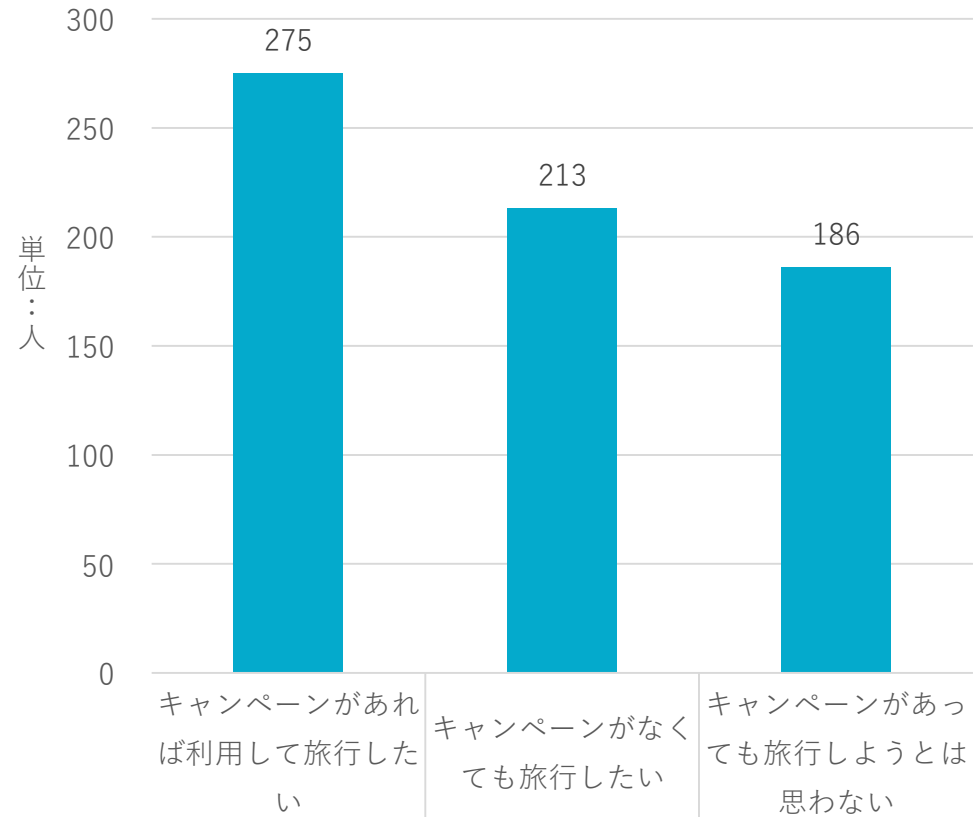
大規模なイベントについては、夏祭りや花火大会の時期である6月～8月からであれば参加してもいいと考える人も一定数はいるものの、居住地にかかわらず多くの人が当面は参加を控えると回答しています。

各種キャンペーンについて

GO TOキャンペーンの利用状況



各自治体等が実施するキャンペーンがあれば、その地域に旅行したいと思うか



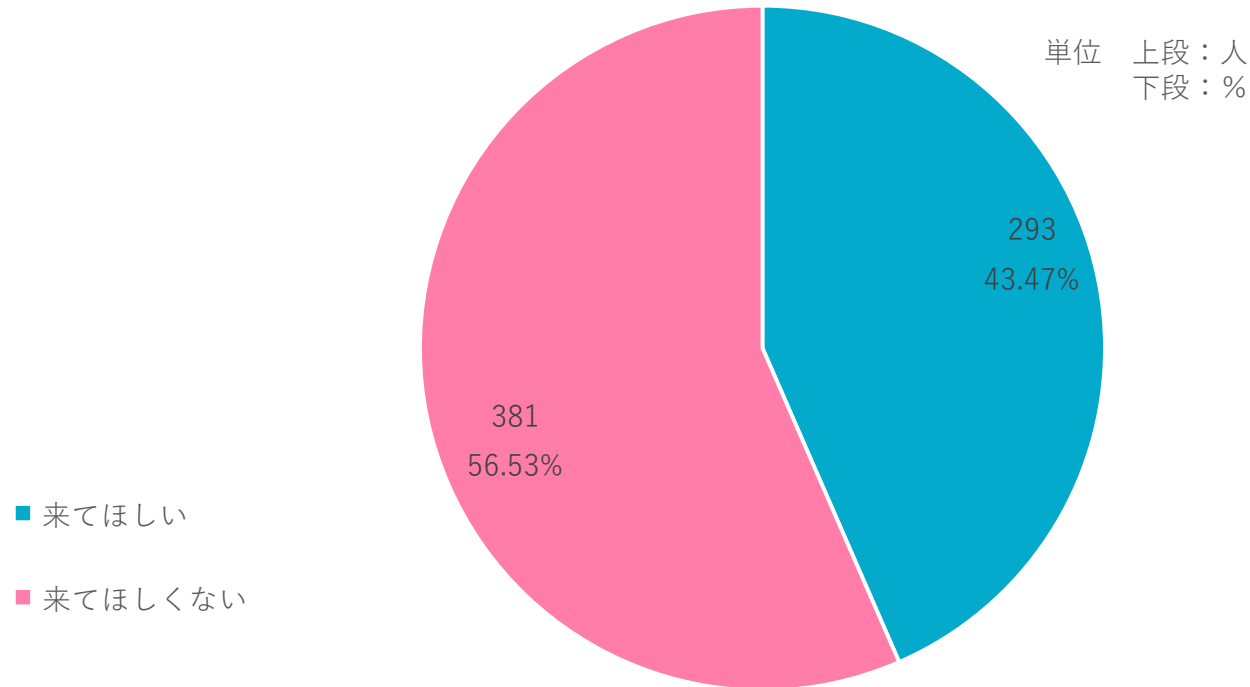
国が実施するGO TOキャンペーンは、利用したいと考える人は多いものの、他の項目で旅行について「計画はない」と回答した人が多かったこともあり、実際に利用した人は全体の約25%にとどまっています。各自治体等が実施するキャンペーンについては、「キャンペーンがあれば利用して旅行したい」が最も多いものの、「キャンペーンがなくても旅行したい」も一定数の回答を集めており、旅行意欲の高さが表れています。反面、「キャンペーンがあっても旅行しようとは思わない」という回答も全体の約30%弱あり、現状では旅行をすることそのものへの難しさも表れた結果と言えます。

2.津山市または居住地への 観光客受入について

観光客を受け入れる側として
現時点でどう思っているか

観光客の受入について

現時点で、観光客に津山市へ来てほしいですか。
(津山市外在住の場合、自分の居住地への観光客受入について)

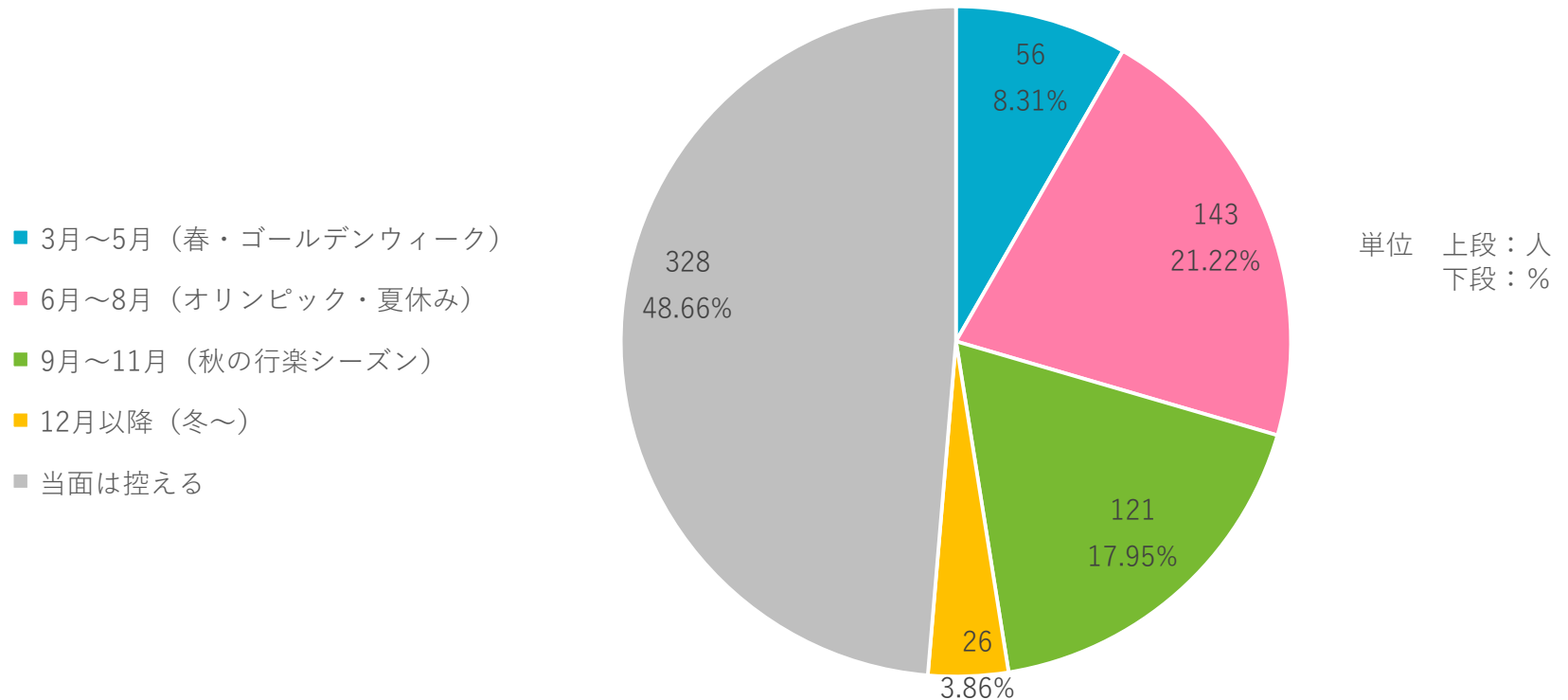


来てほしい声も多いですが、全体で見ると現時点ではまだ来てほしくないという回答が過半数を占めています。

これも、情勢によって大きく左右される項目と考えられます。

大勢が集まるイベントについて

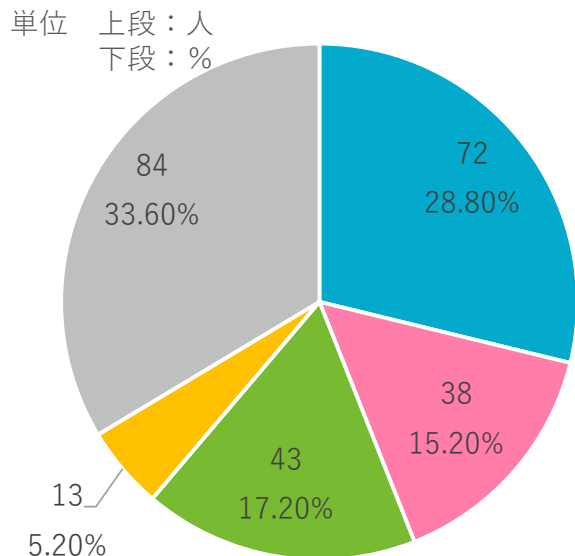
現時点で、花火大会やライブなど大勢が集まるイベントについて
いつごろからであれば実施してもいいと思うか



大規模なイベントについては、参加についての設問と同じく、夏祭りや花火大会の時期である6月～8月からであれば開催してもいいと考える人も一定数はいるものの、「当面は控える」べきと考える人が多数を占めています。

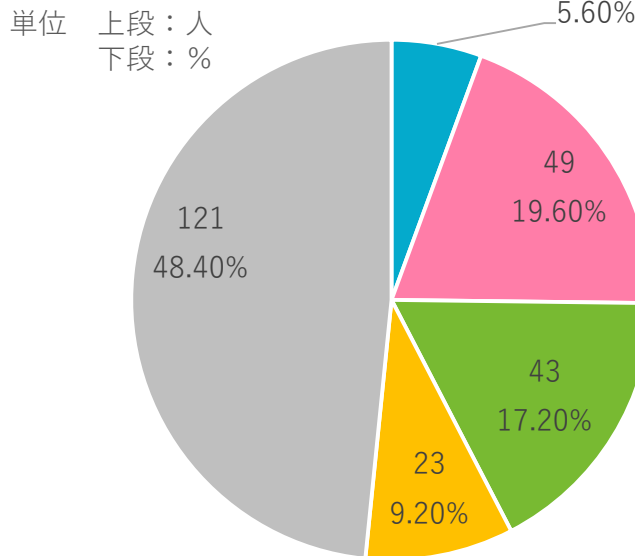
いつごろからであれば観光客を受け入れてもいいと思いますか

県内など近隣エリア



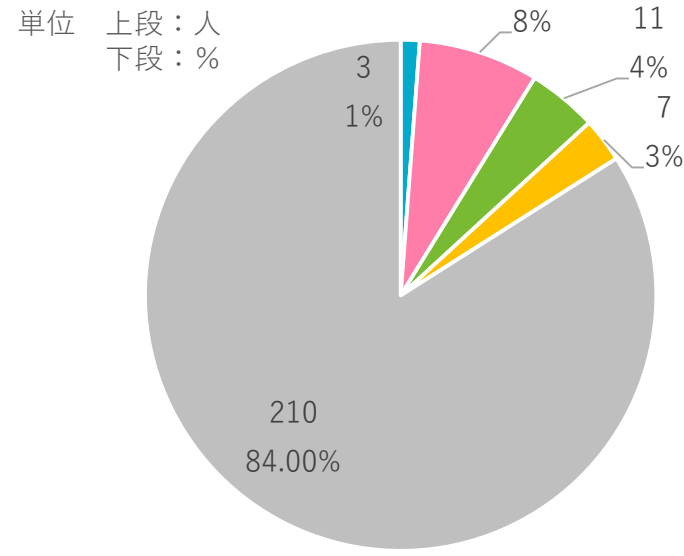
- 3月～5月 (春・ゴールデンウィーク)
- 6月～8月 (オリンピック・夏休み)
- 9月～11月 (秋の行楽シーズン)
- 12月以降 (冬～)
- 当面は控える

遠方 (国内)



- 3月～5月 (春・ゴールデンウィーク)
- 6月～8月 (オリンピック・夏休み)
- 9月～11月 (秋の行楽シーズン)
- 12月以降 (冬～)
- 当面は控える

海外



- 3月～5月 (春・ゴールデンウィーク)
- 6月～8月 (オリンピック・夏休み)
- 9月～11月 (秋の行楽シーズン)
- 12月以降 (冬～)
- 当面は控える

エリアが遠くなるほど受け入れてもいいと思う時期も遅くなるというのは、自分が旅行をしてもいいと考える時期の考え方と同じです。

ただし、観光客の受け入れについては、近隣エリアであっても「当面は控える」と回答した人が33%にのびります。

おわりに

総括

今回の調査にあたり、674名の方に回答をいただきましたことに感謝申し上げます。

これまでに行った3回の調査を通して、コロナ禍中においても旅行への意欲がある人はどのタイミングの調査でも70%程度となっていることがわかりました。

現在、変異株の感染拡大や岡山県への緊急事態宣言の発出など、アンケート実施時から状況がめまぐるしく変化しており、旅行や観光に対する意識も変わっていると思われます。今後も状況の変化に応じて引き続き調査を実施していくとともに、これまでの調査結果をもとに、アフターコロナに向けた効果的な情報発信等を行っていきます。

二次利用等について

この調査内容及び結果について、許可なく二次利用することを禁じます。

また、調査結果については、津山市及び（公社）津山市観光協会（津山版DMO候補法人）で行う施策に活用いたします。その際、関係機関等に調査内容及び結果を提供することがあります。

問合せ先

津山市観光振興課

電話 0868-32-2082

メール kankou@city.tsuyama.lg.jp